

佐渡市地域クラブ活動

資料No. 2

現状・課題	- 週末の学校部活動を地域展開するため、佐渡市地域クラブ活動を創設し、R5年度から段階的に移行。 - 生徒の多様なニーズに対応した2つの形態(スキップ型・エンジョイ型)が特徴。約3割の生徒が佐渡市地域クラブ活動に参加。 - R6年度からSEA(スポーツ国際交流員)を活用。 - R8年度は週末部活動の完全移行が完了。平日を含めた体制づくりや指導者確保、送迎対策に課題。
成果	- 子どもたちに多種多様なスポーツ・文化の体験機会を提供。 - 指導者のやる気アップが地域活性化に。 - 教員の働き方改革の推進。

特徴的な2つの形態

技術向上を目指す

「スキップ型」

部活動種目を週末も継続して取り組みたい生徒向けで、年間通じて同じ種目で活動します。

【種目例】野球・バスケ・バドミントン・卓球・バレー・ソフトテニス・吹奏楽など

資源を活かした体験

「エンジョイ型」

スポーツや文化を楽しむため、佐渡の資源を活かした様々な種目の中から、週ごとに選択して活動します。

【種目例】マリンスポーツ・スキー・自転車・トレッキング・鬼太鼓・民謡・イラスト・クッキングなど

地域指導者の補助

初心者クラブの創設

SEA（スポーツ国際交流員）



サトリオ



キャメロン



ジョセフ

その他の活動

令和8年度の主な取組内容

- ①月4回まで地域クラブ活動を可能とし、週末の部活動完全移行が完了。
 - ②年度当初の空白期をなくし、スキップ型は4月から活動可能に。
 - ③新たな種目(リコーダー、ドローン等)を加え、2つの形態をより一層充実。
 - ④エンジョイ型は小学5～6年生も参加可能。(R7～)
 - ⑤年会費5,000円、要保護世帯は全額免除。
- 《以下、国のガイドライン改正に伴う取組》
- ⑥認定地域クラブ制度を導入し、クラブや指導者の質を確保。
 - ⑦指導者や送迎などの各種課題を整理し、平日の地域展開を検討。

部活動指導

要望した中学校の部活動指導を担当。教員の働き方改革に繋がる他、生徒にとっては技術と英語を同時に学べるチャンスに。

保育園訪問

英語を使った楽しいゲームや身体遊び体験「キッズイングリッシュ」を実施。幼いころから英語や外国人に触れる機会を創出。

スポーツ教室

SEA自身が企画したスポーツ教室。低学年対象や、女子対象など、様々なコースを実施。通年実施へ拡充を予定。